令和８年５月１日
第 228号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 中村丈二
電話 972・6606

浸水対策工事いよいよ大詰め



送水管の設置はほぼ完了した（４月19日）

山口市の当地区浸水対策工事が終盤を迎えています。県道を横断する送水管の設置です。内径30㎝の金属管が３本並べて敷設されていきました。

九田川の県道下の暗渠排水の入口脇に排水ポンプが設置される土台が作られています。ここに強力なポンプが設置されます。

当初から今年の梅雨末期の大雨に間に合わせるように計画されていましたから、それには間に合いそうです。

ポンプは油圧駆動ですので、油圧パワーユニットは必要な時期に設置されるということになっています。使わない時期にいろいろな整備などがし易いようにどこかに保管するのでしょう。毎分45トンの水を汲み上げる「力持ち」を早く見たいですね。

共同作業に力を貸して下さい

水路清掃の共同作業にご協力ください。毎年ゴールデンウィークの最初と最後に共同作業を実施しています。

４月29日午前８時から
落水路の泥上げと水路のり面の除草
（基本的には農地関係者が中心ですが、一般の参加歓迎）

５月６日午前８時から
地域内用水路の一斉清掃

いずれも共同作業の日当支払対象です。点呼をお忘れなく。

大事な提案の出た八方原自治会総会



最後部は満席だけれど、最前列は座りにくい

４月12日、八方原自治会の総会が開催されました。52名の参加がありました。

令和７年度の八方原自治会の事業報告と収支報告、公民館活動の報告、それに各団体の活動が報告され、全て承認されました。

そして令和８年度の活動計画と予算がそれぞれ提案され、これら全て承認されました。

また自治会長から現在計画中のペット葬祭施設の業者からの報告として「計画場所が埋蔵文化財の指定地域となっており、その調査に２週間程度必要になった」と発表しました。かつて住居があった地域ということでしょう。

また交通危険個所として旧高山造園庭の看板のある交差点が見通しが悪く危険だという意見が役員会であったことも紹介され、何らかの対策を考えることになりました。

また八方原消防組が活動に支障が出ているとして、重要な提案がありました。

（裏面に関連記事）

大型管理機の活躍「消毒と施肥」

麦の穂が出揃いました。関係者の話では花がなかなか咲かないので気をもんでいたとのことしたが、4月になって様子が変わりました。


幅１５メートルの腕から薬剤の散布

今度は防除や施肥などが必要になってきます。

6月初旬の刈り取りまで、気が緩められません。

容易くない「中郷八幡宮」を護り継いでいくこと

4月12日、中郷八幡様の掃除が行われました。上郷地区の全地区が担当区域の除草清掃を実施しました。4月18日に春の例祭が行なわれるので、それまでに作業をするようにという約束になっています。今回は1～3班の方々に担当していただきました。誠にありがとうございました。

その後に総代会が開催され、年次の報告と活動予定が示されました。

一つだけ良い知らせがありました。長年、本殿の雨漏りに悩まされていたのですが、雨漏りしなくなったというのです。どうも昨年の共同作業で屋根にたまっていたごみを除去したことで、雨水がうまく流れるようになったようです。

残念なことは長年続けてきたしめ縄作りが、人手が足らなくなり、止めざるを得なくなりました。しめ縄用の藁を乾燥保管してくれていた方ができなくなったこともう一つの理由です。今後は化学繊維素材の高価な「しめ縄」を購入するしかありません。


当地区の担当は中央参道の中間部分とそのわきの車道

消防組から自主防災組織に変わるか

4月の総会で八方原消防組頭は「活動の停止も考えている」という発言がありました。これに対して今年一年かけて検討していくと自治会長は答えられました。

また参加者の意見として「もしもの時にどうするのか」あるいは「自主防災組織はどうか」という意見がありました。

自主防災組織については昭和40年代から考えられています。消防庁の発刊した「自主防災組織の手引き」の初版は昭和48年となっていますから、50年以上前から考えがありました。しかしなかなか普及がしない中、阪神淡路大震災や東日本大震災などの大災害のたびにその重要性が叫ばれてきました。

現在では安心・安全な地域づくりには欠かせないものとして普及しています。災害が起きた時に、消火班、救護班、避難所設営などが事前用意されておれば、それぞれが組織的に機能して人命や財産の損害を最小限に留めることが可能になります。

現在八方原消防組の消火ポンプは壊れたままで機能しない状態です。これを修理することが必要かどうかも検討の余地があります。

現在山口市内では２５３組織が作られ活動しています。市から設立時や運営時、資材の購入にも助成などが用意されています。しかし、そうした補助の受けるにはそれに対応する組織活動が求められることになります。

小郡地域の自主防災組織（R8/4 現在）
山手上区自主防災会
わかば台自主防災会
平原区防災会
大正中区自主防災会
新町西区防災会
明治西区自主防災会
東津総区運営協議会
柳井田区自主防災会
樫の前自主防災会
新町東下区自主防災組織
新町東上区自主防災会
セ・パルレ弐番館自主防災会
蔵敷区自主防災会
仁保津東区自主防災組織
明治東区自主防災会

LINEのグループへの参加

八方原自治会緊急連絡網のラングループへの参加手続きを変更します。

左のQRコードをご自身のラインの友達追加機能で読み込んでください。

管理者の副自治会長原田茂樹と友だちになります。その後にグループへの招待を行います。

八方原地区緊急連絡
Eメールの登録